

大島小 学校だより



島っ子だより

第33号 令和3年1月20日 文責 校長 藤瀬 安孝

水仙ロードFへ向けて・・・

3学期も1月下旬に入り、お正月気分もすっかり抜け、学習活動も軌道に乗ってきたところです。例年この時期に開催されている公民館主催の水仙ロードフェスティバルに向けて、子どもたちも走るペースを上げたり、目標タイムを設定したりと準備を進めています。15日と19日には本番と同じコース同じ距離を試走しました。



ところが、とても残念なことに、折からの新型コロナウイルス発生状況のため、24日(日)の水仙ロードフェスティバルを中止とする連絡が公民館からありました。非常に残念ではありますが、やむを得ません。

しかし、朝ランや体育の授業でこれまで走り込んできましたので、子どもたちの努力の成果を確かめる機会を何とかしたいと思っています。学校では、当日が雨天時であった時のために「記録会」という形の計画を準備していましたので、その計画を生かしたいと考えています。

日曜日に、多くの地域や保護者の前で走りを披露することはできなくなりましたが、自分のめあてに向かって力を尽くす記録会で、子どもたちの努力が報われるようにする予定です。

新年への思いをこめて

お正月といえば、書き初めです。その起源は古く、平安時代の年始の宮中行事として、一年で最初に汲んだ水で墨をすり、恵方に向けて詩歌を書いたものだと言われています。今では、一年の抱負や目標を文字に表したり、字の上達を願ったりするために書かれるようになりました。



各学年で、毛筆や硬筆で、新年にふさわしい言葉などを書写の時間に書きました。6年生たちは、『一年の最初の字なので特にきれいに書こうとしました』『6年間の書写の学習で習ったことを発揮しようがんばりました』『新年だから、いつも以上にきれいに気持ちを込めて書きました』と話してくれました。

この学校だより33号も、コロナの影響に関する内容が多いものになりました。しばらくは、この状況の中で勉強や毎日の生活をしていくこととなります。感染流行が終わり、少しでも元の生活に近づきたい。そんな思いを胸に書いた子もいたことでしょう。

コロナ対応が少し変わります

平戸市内でも感染者が確認され、少しだけ学校の感染症対策も変わることになります。これまでと異なるのは、本人だけではなく、同居のご家族に発熱があったときに、場合によっては自宅待機する場合もあり得るという点です。これにつきましては、今週中に発行します「ほけんだより」で改めて詳しくお知らせいたします。

個々の事例によって、聞き取る内容の度合いが変わってくることも予想されます。職員間で共通理解を図り、対応を進めていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

こんな思いを込めて、書初めを書きました。(名前)

という思いを込めて書きました。

どんな思いを込めて書初めにのぞみましたか？
短くてもいいので教えてください。

こんな思いを込めて、書初めを書きました。(名前)

という思いを込めて書きました。

どんな思いを込めて書初めにのぞみましたか？
短くてもいいので教えてください。

こんな思いを込めて、書初めを書きました。(名前)

という思いを込めて書きました。

どんな思いを込めて書初めにのぞみましたか？
短くてもいいので教えてください。